

## 結言

枚方市学校版環境マネジメントシステムの要求水準を満たすために、外部研修や外部講演会（20-30日/年）に積極的に参加してきました。その結果、得た環境に関する全国の先進事例等の情報や資料を広く公開し、関係各所とも今まで以上に情報を共有していきたいと考えています。

また平成29年1月の『「ESD環境教育カリキュラムデザイン研究会」（環境省・文科省）』の研修会に参加して、S-EMS支援活動の内容が国の方向性を見定め、学校における環境教育としての重要性を痛感しました。

教育委員会と協議して行う「環境推進員研修会」の講師はメンバーが行ってきましたが、一昨年度は温暖化防止の学習の為に、気象庁・大阪管区気象台・地球温暖化情報官に、昨年度は、ESDと環境学習の一人者としても有名な京都教育大学・学校教育学・水山光晴教授に『これからの環境教育とESD・アクティブラーニング』をテーマに講演会を実現できました。

今年度は、『持続可能な社会の実現に向けて』～環境省におけるESDの取組～及び『これからの環境指導要領の変革について』の2つのテーマで行いました。講師は環境省近畿地方環境事務所環境対策課長の川崎雅貴氏、奈良教育大学准教授の中澤静男氏にお願い致しました。京都教育大学・学校教育学・水山光晴教授、環境省近畿地方環境事務所環境対策課長の川崎雅貴氏、奈良教育大学准教授の中澤静男氏にお願いしたことが来年度以降の学習指導要領改定に関するお役に立てばと考えています。

幼稚園教育指導要領、小・中学校学習指導要領等の改訂ポイント、幼稚園は平成30年から実施、小学校は平成30年と31年は移行期間32年度から完全実施、中学校は移行期間が3年間で平成33年度から完全実施の予定。

S-EMS支援活動は9年間を終えて残り3年となりましたが、過去の実績を見直し謙虚にテーマを見定め、今後の問題点である後継者の育成とともに、公平かつ公正に課題に取り組んで行きたいと考えます。

S-EMS支援チーム リーダー 田中靖之

## S-EMS支援担当者が「環境」に関する

環境カウンセラー	(環境省)	4名
環境教育インストラクター	(環境省)	7名
地球温暖化防止コミュニケーター（旧IPCC）	(環境省)	4名
家庭の省エネエキスパート	(経産省)	3名
省エネルギー普及指導員	(経産省)	3名
大阪府地球温暖化防止推進員	(大阪府)	4名